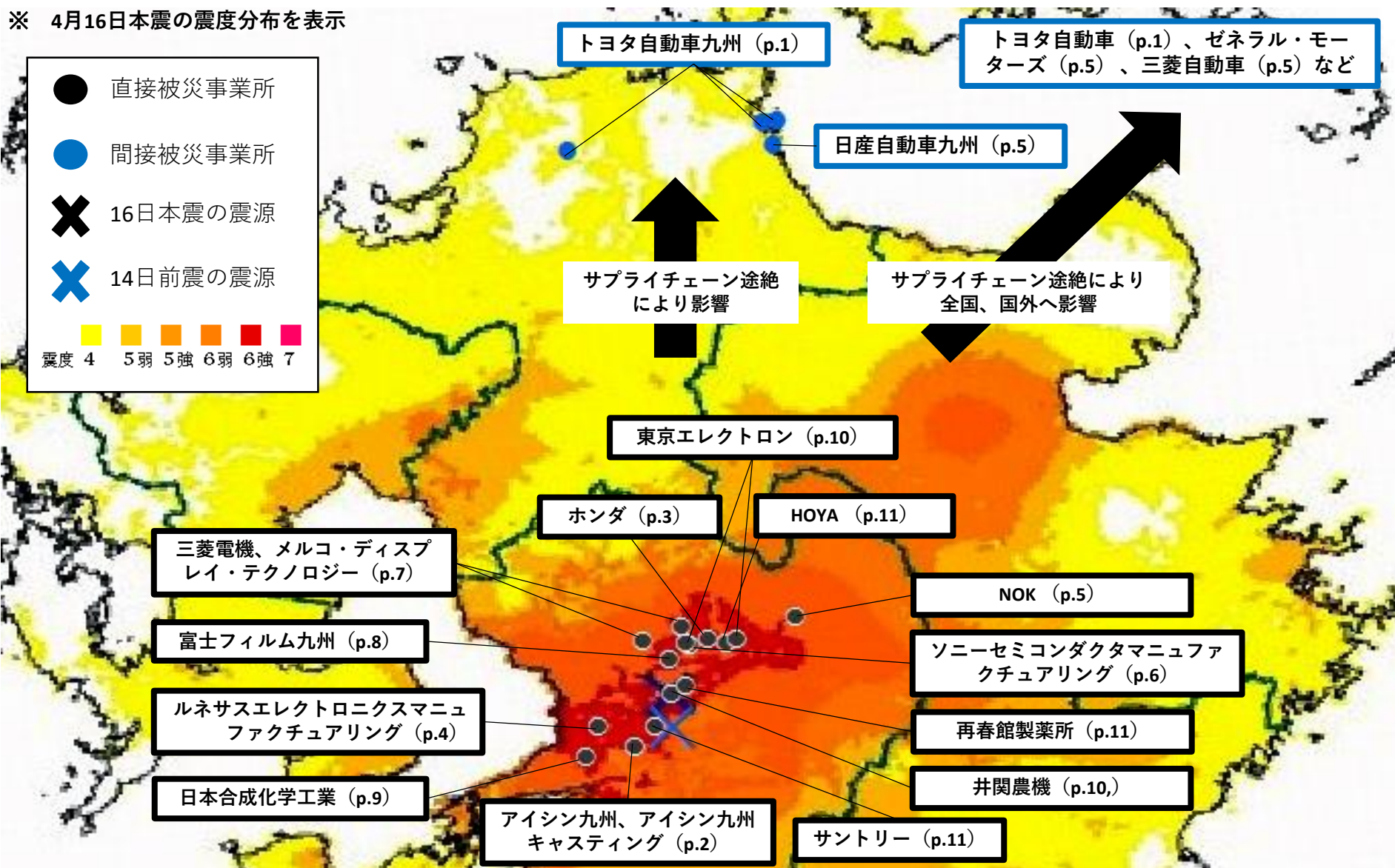
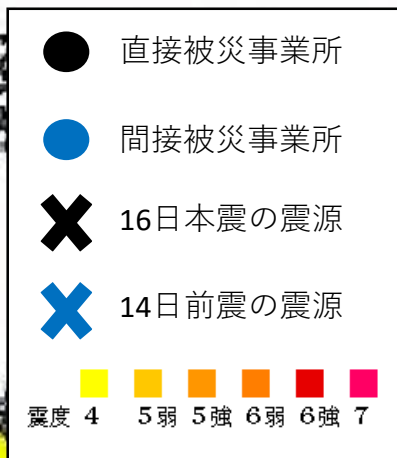


平成28年熊本地震による企業への影響

東北大学災害科学国際研究所 丸谷浩明、寅屋敷哲也

2016年6月8日（水） 11:00現在

※ 4月16日本震の震度分布を表示



平成28年熊本地震等による企業への影響について(企業HP・報道より)

東北大学災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野
 教授 丸谷 浩明・助教 寅屋敷 哲也
 2016年6月8日(水)11:00現在

・平成28年(2016年)熊本地震等による企業等への影響について、企業ホームページからの公表資料(出典:太字)や新聞記事・ニュース記事を引用し、「被害・影響」、「対応・今後の見通し」に分けて整理した。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
1	製造 (自動車関係)	トヨタ自動車	熊本周辺 (部品メーカー)	福岡県、 愛知県、 宮城県な どの工場	トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(6月2日時点)」、6月2日		現状、完全に復旧したわけではないものの、関係者のご尽力により、部品供給の確認もできましたので、 6月6日(月)以降、全ての完成車組み立てラインの稼働を継続すること といたしました。
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(5月11日時点)」、5月11日		5月16日(月)～5月21日(土)の間も引き続き、全ての完成車組み立てラインを稼働させること といたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月28日3:30		1日当たりの国内生産台数 は約1万3000台と 地震前の水準に戻る 。供給が滞った部品を海外工場から機動的に調達するなど「 これまでの備えが一定の機能を果たした 」(トヨタ幹部)
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(4月27日時点)」、4月27日		5月6日(金)～5月14日(土)の間、全ての完成車組み立てラインを稼働させること といたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月26日3:30		トヨタはアイシン精機からの部品供給を受け、25日に堤工場(愛知県豊田市)など完成車4拠点の5ラインを稼働した。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月20日3:30	被災地に近いトヨタ自動車九州(福岡県宮若市)などは 28日まで稼働休止の期間を延長する 。	28日までに休止した26本のラインのうち18本を動かす。 1日当たりの国内生産は地震前の約8割にあたる1万台規模まで回復する見通し 。
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(4月20日時点)」、4月20日		4月18日(月)～4月23日(土)の間、国内における完成車組み立てラインの稼働を、段階的に停止することを公表しておりましたが、 4月25日(月)以降、段階的に稼働を再開すること といたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月18日3:30	福岡県の拠点が15日から生産を止めたのに続き、愛知県や宮城県などの工場も稼働を見合わせる。20～23日はトヨタ本体のすべての量産ラインを休止する。 全体で5万台程度の生産が減る見通し だ。	
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ」、4月17日	トヨタ自動車は、このたびの地震の影響による部品の供給状況等から、 4月18日(月)～4月23日(土)の間、国内における完成車組み立てラインの稼働を、段階的に停止すること といたしました。	
日本経済新聞電子版 速報 企業 2016年4月15日 11:16(13:25更新)	自動車の組み立てなどを担う宮田工場(宮若市)の 生産を午前6時から停止 している。 生産設備に被害はないものの、熊本周辺の部品メーカーからの供給が滞っているため という。また同社は15日午後4時から、エンジンを生産する苅田工場(福岡県苅田町)、ハイブリッド車用部品を生産する小倉工場(北九州市小倉南区)についても稼働を停止する。同社の 全3工場が停止 することになる。						

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
2	製造 (自動車関係)	アイシン精機	熊本県熊本市(2工場)		日本経済新聞電子版 速報 企業 2016年5月17日 15:19		アイシン精機は17日、熊本地震の影響で稼働を止めている 熊本市内の工場 で8月にも生産を再開する方針を明らかにした。生産設備の復旧のメドが立ちつつあるため。九州の仕入れ先や愛知県の本社工場で代替生産しているドアの開閉を制御する部品などについて、 生産をもとの工場に戻す。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第3報)」、4月28日		アイシン九州株式会社 ・工場内から生産設備、生産金型等を搬出し、愛知県内のアイシン精機とグループ会社の工場や九州地区の協力会社において、4月23日から段階的に代替生産を開始し、 5月2日を目処にほぼ全ての品目の代替生産を開始する予定。 アイシン九州キャスティング株式会社 ・4月27日から段階的に生産を再開し、 4月29日には、全工程で量産品の生産を再開する予定。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第2報)」、4月22日	アイシン九州株式会社 ・建屋の内の生産用付帯設備(配線、配管など)に被害ができています ・AIK敷地内の変電設備に被害があり、AIKの建屋内に電気の供給が停止中 ・4月19日からクレーンを用い大型設備や生産型の搬出をしています アイシン九州キャスティング株式会社 ・建屋、設備などに大きな被害はでていません ・破損していた変電設備が4月20日に復旧し、電源が回復しました	震災発生後、当社から339名の応援者が、現地での復旧作業にあたりております。 アイシン九州株式会社 ・現地での生産復旧には時間がかかると判断し、代替生産を中心に進めています。 アイシン九州キャスティング株式会社 ・電源が回復したため、生産再開に向け準備を進めております。主に九州地区の協力会社や愛知県内のアイシン精機の工場での代替生産を開始しました。また、製品によってはすでに海外からの輸入により、対応を開始しました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月21日3:30		アイシン精機は20日、熊本地震の影響により生産が中断していた子会社アイシン九州(熊本市)の ドア部品を自社の中国やメキシコの拠点から調達する方針 を明らかにした。同子会社の 設備や金型は九州の他社の工場に運び込み、生産再開を目指す。 海外拠点の活用や他社との協力により、トヨタ自動車など取引先への供給能力を早期に回復したい考え。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第1報)」、4月17日	1. 熊本地方の関連子会社について ・アイシン九州株式会社(以下、AIK): 熊本県熊本市南区 事業内容: ボディ部品、エンジン部品、半導体、液晶生産装置などの製造 ・アイシン九州キャスティング株式会社(以下、AIKC): 熊本県熊本市南区 事業内容: アルミダイカスト製品の鋳造・加工 2. 被害状況について <従業員の安否について> AIK、AIKCの従業員について、4月17日11時時点で、無事を確認しています。 <事業活動の継続について> 4月14日21時26分頃の地震発生以降、 AIK、AIKCでは操業を停止 しております。地震発生後、安全を第一とし、AIKとAIKCの全従業員は建屋から避難を行いました。その後、度重なる余震の影響により、建屋内に立ち入った被害状況の調査が難航しております。	3. 当社の対応について 震災発生後、被災地での人道支援を目的とした水・食料などの物資の搬送に加え、当社から71名(4/17時点)の応援者が現地での復旧活動にあたりています。 また、AIK、AIKCの操業停止に伴う対応として、現地での早期復旧とともに、 国内外での代替生産を開始 し、お客様への部品供給に全力で取り組んでおります。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
3	製造 (自動車関係)	ホンダ	熊本県大津町(熊本製作所)と熊本県宇城市(九州ショーワ)	熊本県大津町(熊本製作所)	日本経済新聞 朝刊 2016年5月25日		ホンダは熊本地震で被災した 熊本製作所(熊本県大津町)の従業員のうち、2割弱にあたる450人を国内の他の拠点に配置する 。三重県や埼玉県で2~3カ月勤務することで、人員の確保や技術の維持につなげる。二輪の生産拠点の熊本製作所は2600人が働いている。このうち200人を鈴鹿製作所(三重県鈴鹿市)、200人を埼玉製作所の2工場、50人を九州の販売会社に順次、配置し始めた。これまでは復旧作業などをしてきた。希望を聞いた上で、国内の拠点で働く場を確保する。熊本県内にある二輪の研究所の社員285人も8月中旬まで、勤務先を変える。本田技術研究所二輪R&Dセンター(埼玉県朝霞市)に設計・開発を担当する技術者らを移す。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月29日3:30		ホンダ 熊本製作所 の建屋や製造設備には損傷が残っている。 今回、再開を果たすが、規模はまだ小さい 。ギア部品の製造から始め、その後、二輪車などのラインを再稼働させていく。熊本製作所から部品を仕入れている 八千代工業四日市製作所(三重県四日市市) は 1日の四輪車生産を170台から48台に減らしている 。通常に戻るには半年かかる見通し。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による生産状況について」、4月28日		熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の生産を4月28日まで休止しているが、 5月6日より一部稼働を再開することを決定 。熊本製作所の建屋および設備の一部は被害が大きく、 復旧は8月中旬を見込む 。なお、熊本製作所以外の生産拠点の状況については、軽自動車の委託生産先である 八千代工業株式会社 において4月22日より一部生産を縮小して稼働しており、 通常稼働には半年程度を要する見込み 。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月22日3:30		熊本製作所では1日あたり二輪車を750台、発電機などの汎用製品を200台生産している。 現在は在庫分を出荷している 。再開のめどは立っていない。軽自動車をホンダから受託生産する自動車部品メーカーの 八千代工業 は同製作所の操業停止を受け、四日市製作所(三重県四日市市)の一部生産を22日から縮小する。 軽自動車向けエンジンを1日当たり170台生産しているが、22日から120台に減産する 。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による生産状況について」、4月21日	熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の生産を4月22日まで休止する事としていたが、設備の被害状況などを鑑みて、 4月28日まで生産休止を延長 することを決定。	熊本製作所以外の生産拠点の状況については、軽自動車の委託生産先である八千代工業株式会社において 4月22日より一部生産を縮小して稼働 し、その他の生産工場については通常稼働の予定。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による工場稼働について」、4月18日	熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の 生産を4月22日まで休止する 。	
日本経済新聞 朝刊 2016年4月17日3:30	熊本製作所(熊本県大津町)が18日の生産休止を決めた。16日も余震が続いており、工場の被害状況を調べられない状況だという。						

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
4	製造 (自動車関係)	ルネサスエレクトロニクス	熊本県熊本市(工場)		ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第8報 最終報)」、5月23日		5月22日を目標に川尻工場を震災前の生産能力(生産着工ベース)へ復旧させるとしていましたが、予定通り昨日 22日に復旧を完了 いたしました。
					ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第7報)」、5月10日		■ルネサス セミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 現在、他工程の生産を段階的に再開していますが、 5月22日に震災前の生産能力(生産着工ベース)に復旧させる目標 としました。
					ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第6報)」、4月20日		■ルネサス セミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 生産再開の目途がつき、 4月22日より一部工程において生産を再開すること としました。 ■サプライチェーン全体での影響 代替生産の検討も開始 し、サプライチェーン全体の早期復旧を目指します。
					ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第5報)」、4月19日		※内容略
					ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第4報)」、4月18日		■ルネサス セミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 ・4月16日の本震を受けて再調査を開始していますが、 昨日からクリーンルーム内の安全確認ができ、調査を開始 することができました。
					ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第3報)」、4月17日	■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 ・従業員は16日の本震後、現在全員の安全を再確認しました。 ・設備の部品に一部破損があり、 16日の本震による被害の拡大が確認 されました。 ■サプライチェーン全体での影響 ・ 16日の本震により、一部の製造委託先において被害の拡大が確認 されました。	
					ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第2報)」、4月16日	※内容略	
					ルネサスエレクトロニクス: 『熊本地震』による当社事業活動への影響について」、4月15日	■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 川尻工場(熊本県熊本市) 地震発生に伴い速やかに稼働を停止し、現在被災状況を確認中です。また、従業員は全員避難を完了しており、人的被害はありません。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
5	製造 (自動車関係)	NOK		熊本県阿蘇市(工場)	NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ(第3報)」、4月28日	事業場周辺の道路が一部まだ復旧しておらず、従業員の通勤、物資の輸送に支障が出ております。	16日以降供給が滞っておりました 電力等のインフラが復旧し始めたため 、本日まで にほぼ生産可能な状態となりました。
					NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ(第2報)」、4月18日	1. 被災地域に所在する拠点 拠点: 熊本事業場、所在地: 熊本県阿蘇市、 主要生産品目: Oリング 2. 人的被害について 18日の段階で当社従業員全員の安全確認が取れております。 3. 被災状況について 建屋や生産設備に大きな損傷はありません。しかし 電力等のインフラが阿蘇地区を中心に供給が滞っており、当社事業場の稼働が停止 しております。また事業場周辺をはじめ熊本県内で、 道路が寸断されており従業員の通勤、物資の輸送に障害 が出ております。今後の復旧につきましては建屋、設備の点検等、できる部分より復旧作業を進めており、通常稼働状態に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。	
					NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ」、4月18日	シール製品を生産しております当社熊本地区の 工場等のインフラ、および周辺道路の寸断により稼働を停止 しております。なお当社従業員にしましては、本日の時点で全員の安否確認が取れております。現在当社危機管理室を中心に、工場の設備の点検等を行い、被害状況を確認しております。	
6	製造 (自動車関係)	ゼネラル・モーターズ(米)	熊本県内の部品工場	米テネシー州・カナダなど(4工場)	日本経済新聞 朝刊 2016年4月23日3:30	米ゼネラル・モーターズ(GM)は22日、熊本地震の影響で 部品の供給が滞った として、米テネシー州やカナダなど北米4工場について 25日から2週間、操業を停止 すると発表した。	GMの広報担当者は日本経済新聞社の取材に対し「どの会社のどの部品かはコメントできない」と話した。工場はこのほかオハイオ州とカンザス州にあり、「ピュイック」や「シボレー」ブランドなどの車をつくっている。同社は影響を受ける台数も明らかにしていないが、「北米での年間生産計画には影響を与えない」(広報)という。
7	製造 (自動車関係)	三菱自動車	熊本県内の部品工場	岡山県倉敷市	NHK NEWS WEB 4月19日 22時40分	部品メーカーからの調達が滞るとして、岡山県倉敷市の工場 で18日の夜間から20日まで軽自動車の生産を停止 する。	
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月16日3:30	同社は水島製作所(岡山県倉敷市)で、 18~19日の稼働を一部取りやめる 。熊本県内の取引先工場が被災し、部品の調達が止まる見通しのためだ。	
8	製造 (自動車関係)	日産自動車	熊本県熊本市	福岡県苅田町	日刊工業新聞電子版 2016年4月20日		日産は日産自動車九州(福岡県苅田町)で18日から操業を再開した。現状はアイシン九州製部品の在庫を使うか、 熊本地震による調達の影響が少ない車種だけを生産することで対応 しているとみられる。
					日産自動車:「平成28年熊本地震の被害に対する支援について」、4月19日		日産自動車九州は、生産設備および部品供給の確認のため16日(土)の休日出勤を取りやめましたが、 18日(月)より生産を再開 しました。
					ニュースイッチ 2016年4月18日	16日も稼働を予定していたが、部品調達の影響で休止。	同社の子会社日産自動車九州(福岡県苅田町)は 15日に平常通り稼働 した。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
9	製造 (電機・機械関係)	ソニー	熊本県菊陽町(工場)	長崎県、大分県の半導体工場	毎日新聞 西部朝刊 2016年5月25日		ソニーは24日、熊本地震により、2017年3月期連結決算の営業利益に約1150億円の悪影響が出るとの見通しを発表した。熊本県菊陽町にある半導体工場の復旧費用や、部品調達の遅れによるカメラ事業の売り上げ減少などが響く。5月に入って段階的に稼働を再開したが、 フル生産に戻るのは10月までかかる見込み だ。電子部品事業全体では、売り上げの減少や復旧費用などで 約600億円のマイナスを見込む 。カメラ事業では、熊本の半導体工場の稼働停止による部品調達の遅れで、デジタルカメラやプロジェクターの生産に影響が出たため、 約450億円の悪影響が生じる 。その他の事業への影響は軽微とした。 菊陽町の工場で手掛けているスマートフォン向け部品の開発や生産からは撤退 することを明らかにした。
					ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について(第4報)」、5月13日		・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社熊本テクノロジーセンター(熊本県菊池郡)は、高層階に位置する、 後工程の一部である測定工程 については、 5月9日より段階的に稼働を再開 しており、 組立工程など他の工程については、5月17日より順次稼働を開始する見込み です。 ・同テクノロジーセンターの低層階に位置する ウェーハ工程は、2016年5月21日より順次稼働を開始する見込み です。
					ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について(第3報)」、4月28日		・建屋については、 高層階を中心に損傷が確認 されたため、補強工事を実施します。 ・同テクノロジーセンターの 低層階に位置するウェーハ工程 を設置したクリーンルーム及び生産装置については大きな損傷がないことが確認されたため、生産再開のための準備を開始しました。2016年 5月末を目途に稼働開始する見込み です。 ・同テクノロジーセンターの高層階において行われていた組立や測定などの後工程及びカメラモジュールなどの工程に関しては、クリーンルーム及び生産装置等の損傷が認められており、検証を進めています。 ・同テクノロジーセンターにおけるイメージセンサーなどの 完成品在庫については損傷は限定的であり、既に出荷を開始 しています。半製品、仕掛品の状況については、現在確認中です。
					ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について」、4月18日	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 熊本テクノロジーセンター (熊本県菊池郡)は、主にデジタルカメラや監視カメラ向けのイメージセンサー及びディスプレイデバイスなどを生産しておりますが、 地震発生直後より現在まで、生産活動は停止 しています。現在、建屋や生産装置の被害状況は確認中で、余震が続いていることもあり生産再開は未定です。	スマートフォン向けイメージセンサーの主力工場である同社 長崎テクノロジーセンター (長崎県諫早市)及び4月1日より自社工場として稼働開始した 大分テクノロジーセンター (大分県大分市)につきましては、地震発生後、一部の生産装置が一時停止しておりましたが、 4月17日より順次復旧し、生産を再開 しています。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月17日3:30	菊陽町の半導体工場 は、カメラやスマートフォン(スマホ)に使われる画像センサーの主力工場で、 14日の地震発生以降、操業を休止 したままだ。 長崎県と大分県の半導体工場の一部ラインも16日から停止 した。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
10	製造 (電機・機械関係)	三菱電機	熊本県合志市、菊池市(2工場)		三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、6月1日		○パワーデバイス製作所 [熊本] :ウエハ工程(合志地区) 生産能力の早期回復に取り組んでまいりましたが、目標としておりました昨日 5月31日に震災前の生産能力に復帰 いたしました。
					三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、5月11日		○パワーデバイス製作所 [熊本] :ウエハ工程(合志地区) 5月9日より一部生産を再開いたしました 。現状、大きな障害となる事象は発生していないことから、 5月31日を目標に、震災前の生産能力へ回復させるべく取り組んでまいります 。
					三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、5月2日		○パワーデバイス製作所 [熊本] :ウエハ工程(合志地区) 引き続き、 5月9日に一部生産再開を目指して 活動を展開しております。 ・クリーンルーム: 4月27日に復旧し 、現在稼働中です。 ・生産設備: 立ち上げ調整作業を継続しており、現時点で5月9日生産再開を阻害する要因は生じておりません。 ・その他: 一部工程については代替生産も実施 いたします。 ○液晶工場:メルコ・ディスプレイ・テクノロジー(株) (泗水地区) 引き続き、 5月20日に一部生産再開を目指して 活動を展開しております。 ・クリーンルーム: 4月27日に復旧し 、現在稼働中です。 ・生産設備: 立ち上げ調整作業を継続しており、現時点で5月20日生産再開を阻害する要因は生じておりません。 ・その他: 一部工程については代替生産も実施 いたします。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月28日3:30		三菱電機も27日、生産停止していた 液晶部品工場(熊本県菊池市)を5月20日に一部再開する と発表。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月22日3:30		三菱電機は21日、 パワー半導体工場(同県合志市)で5月9日から一部生産を再開する と明らかにした。
					三菱電機:「『平成28年熊本地震』の影響に関するお知らせ」、4月16日	○パワーデバイス製作所[熊本] (熊本県合志市): 4月14日夜から操業を停止 しています。建屋の倒壊はありません。 ○液晶事業統括部[メルコ・ディスプレイ・テクノロジー(株)を含む](熊本県菊池市): 14日夜から操業を停止 しています。建屋の倒壊はありません。	
					TBS系(JNN) 4月15日(金)3時44分配信	熊本県合志市 にある半導体関連の工場と、 菊池市 にある液晶関連の合わせて 2つの工場の稼働を停止 しました。地震発生当時に工場に働いていた従業員は全員避難したということで、現在のところ、「建物や従業員への被害は確認されていない」ということです。	三菱電機は、工場の再開について、「製造装置の安全確認などを行ってから判断する」としています。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
11	製造 (電機・機械関係)	富士フィルム	熊本県菊陽町(子会社の工場)		富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(最終)」、5月25日		5月22日に全ての生産設備での生産を再開し、現在も安定に稼働しております。製品出荷についても4月19日より在庫品の品質再確認とともに出荷を再開、復旧後に生産した製品の出荷も順調に拡大し地震発生前の水準に回復いたしました。在庫品への被害が少なかったことおよび迅速に復旧が進んだことにより、 今年度の事業全体への影響は軽微 にとどまる見通しです。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第四報)」、5月2日		4月14日より停止していた生産設備は、 4月23日より試運転を開始 致しました。試運転は順調に進んでおり、 一部設備では生産を再開 いたしました。引き続き準備の整ったものから、順次生産を再開してまいります。復旧作業が順調に推移すれば、 5月中には地震発生前の生産水準に回復できる見込み です。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月21日3:30		在庫品への影響は限定的で当面の供給には問題がないとしている。ただ 完全な復旧に時間がかかる場合も想定し、静岡、神奈川県 の工場と同じ製品の生産を増やす準備を進める。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第三報)」、4月20日		電気などのインフラも徐々に回復し、再稼働に向けた準備を進めています。 今週末には生産設備の試運転が開始できる見込み となり、順次確認を進めてまいります製品出荷については在庫品の確認を進め、 一部確認の済んだものは昨日より出荷を再開 いたしました。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第二報)」、4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・富士フィルム九州株式会社(熊本県菊陽町)においては、地震発生後直ちに災害対策本部を設置し、情報の収集と対応、復旧対策をすすめております。 ・14日の地震発生後から生産を停止し、再稼働に向けた設備等の詳細な確認作業を進めております。 ・製品出荷については、在庫や他工場での代替生産などで影響を最小限に抑えるべく検討を進めております ・交通網の混乱や継続する余震などにより、一部製品で納期遅れなどの影響も懸念されます。 	
					富士フィルム:「『平成28年熊本地震』による当社への影響について」、4月15日	現在のところ当社および関連施設におきましては、建屋・設備・従業員などで大きな被害は確認されていません。	
					YOMIURI ONLINE 2016年4月15日3時27分	同社の子会社の工場では、14日午後10時現在、大きな破損は確認されていない。24時間稼働の生産ラインを止めて状況を確認している。この工場は、液晶テレビなどのディスプレイに使われる保護フィルムを製造しており、 世界的に大きなシェア (市場占有率)がある。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
12	製造 (電機・機械関係)	日本合成化学工業	熊本県宇土市(工場)		日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第6報)」、5月31日		「OPLフィルム」 現在整備中の生産設備は、整備が完了次第、試運転を行ったうえで 6月中旬から順次生産を再開 します。なお、一部品種は大垣工場で応援生産をしています。 「ゴーセノール」「ゴーセネックス」 ①「ゴーセネックスZ」は 6月上旬から生産を再開 します。 ②「ゴーセノールEG」は 6月上旬から生産を再開 する予定です。 ③「ゴーセネックスL-3266」は 7月中旬から生産を再開 する予定です。 上記以外の「ゴーセノール」「ゴーセネックス」は、復旧に時間を要する為、 9月からの生産再開 を予定しています。 なお、「ゴーセノール」の一部品種は水島工場で応援生産をしています。
					日本合成化学:「『平成28年度熊本地震』に伴う損失見込み額の発生に関するお知らせ」、5月10日	生産設備の損傷等に伴う操業休止期間中の損失、原状回復費用、棚卸資産の廃棄等による 災害損失は約 24 億円を見込んで おります。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第5報)」、4月28日		・「OPLフィルム」: 製品出荷を既に再開しています。 生産は5月下旬より、順次開始する見通し です。 ・「ゴーセノール」「ゴーセネックス」: 製品出荷は5月から再開する見通し です。 一部の製品の生産は5月下旬より順次開始する見通し です。
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第4報)」、4月25日	4月25日からは関係業者による設備・装置の損傷程度の確認と復旧日数の見積もりを実施 しています。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第3報)」、4月21日	現在、当社熊本工場は操業を全面停止しております。 4月20日より本格的な被害状況の確認作業を開始 しております。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(4月18日現在)」、4月18日	15日時点では熊本工場の建物および生産設備への大きな被害はありませんでしたが、 16日の地震により大きな被害が発生 しています。 ＜被害を受けた拠点と生産品目＞ 日本合成化学工業株式会社 熊本工場（熊本県宇土市） 生産品目：ポリビニルアルコール「ゴーセノール」「ゴーセネックス」 「ニチゴーGポリマー」光学用フィルム「OPLフィルム」	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について」、4月15日	4月15日10時45分現在において、同地震による当社(熊本工場)および当社グループでの人的被害、建物の被害、生産設備への大きな被害はございません。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
13	製造 (電機・機械関係)	井関農機	熊本県益城町(製造所)		井関農機:「平成28年熊本地震に関する復旧状況のお知らせ(第4報)」,5月23日		株式会社井関熊本製造所の生産再開について 5月16日より部品加工を開始し、順次工程を再開、本日より全面的に生産を再開 いたしました。生産再開後初めてとなるコンパインが完成し、出荷いたしました。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する復旧状況のお知らせ(第3報)」,5月11日		井関熊本製造所の生産状況については、 5月16日より段階的に生産を再開 してまいります。具体的には、5月16日より部品加工を開始し、 5月23日には全面的な生産再開を予定 しております。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」,4月27日		1)株式会社半セキ九州 被害箇所の修復作業を進めながら業務を再開しております。 2)井関熊本製造所 現在は、生産を休止しており、 生産再開は5月中旬から順次再開を予定 しております。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」,4月20日		1)株式会社半セキ九州 被害箇所の修復作業等を進めながらではありますが、 一部業務を再開 しております。 2)株式会社井関熊本製造所について 現時点では、 生産再開には1ヶ月程度 要するものと見込んでおります。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」,4月18日	井関熊本製造所については、余震が継続する中で安全を確保しながら被害状況の確認を進めていること等から、 4月20日(水)まで休業 いたします。	
					井関農機:「平成28年熊本地震による被害状況について」,4月15日(12時00分現在)	・井関熊本製造所:本日は臨時で操業を停止しております。建物の倒壊はありませんが、建物・製品・設備等に被災が見られます。 ・半セキ九州:建物の倒壊はありませんが、建物・製品・設備等に被災が見られます。	
14	製造 (電機・機械関係)	東京エレクトロン	熊本県合志市、大津町(工場)		東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月26日午後7時時点)」,4月26日		大津事業所につきましても、順次、安全確認および設備への影響の確認を行います。まずは生産に寄与する 合志事業所の復旧を優先 してすすめてまいります。 合志事業所では、4月25日より工場の一部操業を再開 しております。生産に関しては、現時点で 4週間程度の遅延影響 を見込んでおりますが、ゴールデンウィークを含む休日対応の生産シフトにより可能な限り遅れを取り戻し、 6月末までには通常の生産体制に戻す予定 です。
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月20日午後5時時点)」,4月20日		合志事業所の生産設備等の状況を踏まえ、 4月25日より段階的に生産再開が可能と見込んで おります。
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月18日午後5時時点)」,4月18日	主力工場である合志事業所につきましては、 建物の外観上、大きな損傷は見られません 。	
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(第一報)」4月14日～(第五報)4月16日	※ 内容略	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害・影響	対応・今後の見通し
15	製造 (電機・機械関係)	HOYA	熊本県大津町(工場)		日本経済新聞 朝刊 2016年4月19日3:30	液晶パネルなどに欠かせない回路基板(フォトマスク)を手掛けるHOYAの 熊本工場 (熊本県大津町)は16日未明の地震で火災が発生した。「 操業停止が1カ月に及ぶ可能性がある 」として、韓国や台湾の自社工場での代替生産の準備を進める。	
					HOYA:「平成28年熊本地震による影響について」、4月18日	・マスク事業部 熊本工場(液晶パネル製造用大型マスクおよび半導体製造用マスク製造) 建屋への影響は少ないものの、設備、装置等が被害を受けたため、 15日より工場の操業を停止 しております。また 16日未明の本震後、工場内において火災が発生 しましたが、 同日中に完全に鎮火 しました。	営業活動等に及ぼす影響を最小限に抑えるため、 一部の液晶パネル用大型マスクについては台湾、韓国の拠点へ、また半導体用マスクについては八王子工場への振替製造 を行ってまいります。
16	製造 (その他)	サントリーホールディングス	熊本県嘉島町(工場)		サントリー:「平成28年熊本地震に伴う九州エリアにおける酒類の出荷再開について」、5月13日	サントリー九州熊本工場では、 一部設備に損壊等があり操業停止が続いています 。現在、工場施設・設備の点検調査を進めています。	九州エリアへの輸送手段が十分に確保できなくなり、同エリアにおいて、4月下旬から「金麦」シリーズ(缶)、「ザ・モルツ」(缶)などサントリービール(株)一部商品およびサントリースピリッツ(株)一部商品の出荷を見合わせていました。この度、同エリアへの輸送能力増強を図り、 5月18日(水)から出荷を再開 します。
					サントリー:「平成28年熊本地震に伴う九州エリアにおける酒類の出荷について」、4月22日	サントリー九州熊本工場および 近隣の配送センターは、一部設備に損壊があり操業停止が続いています 。九州外から九州エリアへの輸送量の急激な増加により、配送手段が十分に確保できない事態となっているため、九州エリアにおいて 4月下旬から、一部商品の出荷を一時的に見合わせざるを得ない 状況となりました。現在九州熊本工場以外の3ビール工場では、増産体制を取っており、既に全国の需要に対する供給量を確保しています。	
					サントリー:「平成28年熊本地震への義捐金の拠出と救援物資の供出について」、4月18日	ビール類、清涼飲料を製造しているサントリー九州熊本工場(熊本県上益城郡嘉島町)は、現在、 操業を停止 しています。	余震の影響もあり、操業再開までは、しばらく時間がかかる見込みです。このため、当社製品の供給においては、当面は出荷遅延等の影響が予想されますが、今後の安定供給を図るため、 既に他工場での増産体制に入っています 。
17	製造 (その他)	再春館製薬所	熊本県益城町		再春館製薬所Facebookより(4月27日)	再春館製薬所のつむぎ商館も、熊本地震により、機材等が倒れ、一部ですが壁や天井にも亀裂が入ってしまいました。	社員が安心して働くことができるように、 営業を一部のスペースで再開 すると同時に、今もその横では、壊れたところを直しつつ、安全性を強化するための工事を続けています。
					再春館製薬所Facebookより(4月26日)		ドモホルンリンクルの生産を開始 しました。被災した工場の主要なラインが復旧し、ドモホルンリンクルの生産もスタートしております。ドモホルンリンクルをつくることのできるの、ここ再春館ヒルトップだけです。
					ニュースイッチ 2016年4月17日15時45分更新【熊本地震・企業動静】	17日もコールセンター社員の出社を引き続き停止した。通常であれば年中無休で運営している 通信販売の注文受け付けは、15日午後から停止 した。交通状況の混乱などで商品の配送にも遅れが出ている。生産設備も損傷し工場も稼働を停止しており、再開の見通しは立っていない。	